

日本慢性疾患重症化予防研究会 シンポジウム・講演会

高齢化により慢性疾患は急増し、その重症化が大きな問題となっています。限られた地域のヘルスケア資源で 1次予防・2次予防・3次予防を一貫通貫に展開していく為には新たなパラダイムが必要です。本研究会では、従来の枠組みを超え、各科各職種の取組みを糾合することにより、アウトカムが出せる多職種協働のプラットフォームの形成に繋がっていきたいと思います。

開催日時：2013年9月16日（月・祝） 13：00～17：00

開催会場：フォーラムミカサ エコ 7Fホール <http://fm-tohnet.com>

（〒101-0047東京都千代田区内神田1-18-12内神田東誠ビル TEL：03-3291-1396）神田駅より徒歩5分

参加費：3,000円

終了後、情報交換会を同会場にて行いますので ぜひご参加ください。（17：00～18：00）

プログラム

- 1) Opening remarks：「高齢化社会における糖尿病治療の課題」
南條 輝志男 先生（和歌山労災病院院長）
- 2) 特別講演-1：糖尿病性腎症の課題と展望
榎野 博史 先生（岡山大学病院院長、腎・免疫・内分泌代謝内科教授）
- 3) 特別講演-2：糖尿病透析予防指導の取り組み ―看護からの発信と課題―
数間 恵子 先生（日本糖尿病教育・看護学会理事長）
- 4) 先進的な地域の取り組み事例：地域ぐるみの減塩運動による脳卒中予防の取り組み
仲 元司 先生（佐久市立国保浅間総合病院内科部長）
- 5) シンポジウム：地域でとりくむ糖尿病透析予防
（座長）難波 光義 先生（兵庫医科大学 内科学 糖尿病・内分泌・代謝科主任教授）
 - 1：中村 隆志 先生（済生会滋賀県病院副院長）
 - 2：西岡 恵子 先生（嶋田病院 コーディネーターナース）
 - 3：勝木 達夫 先生（やわたメディカルセンター副院長）
- 6) Closing remarks：
平井 愛山 先生（千葉県立東金病院院長）

【お問い合わせ先 参加申し込み先】

事務局：株式会社日本医療企画 ヘルスケアソリューション事業部（担当：土屋・松本）
〒101-0033東京都千代田区神田岩本町4-14神田平成ビル
TEL.03-3256-2862 FAX.03-3256-2865
Email: healthcare-sd@jmp.co.jp